

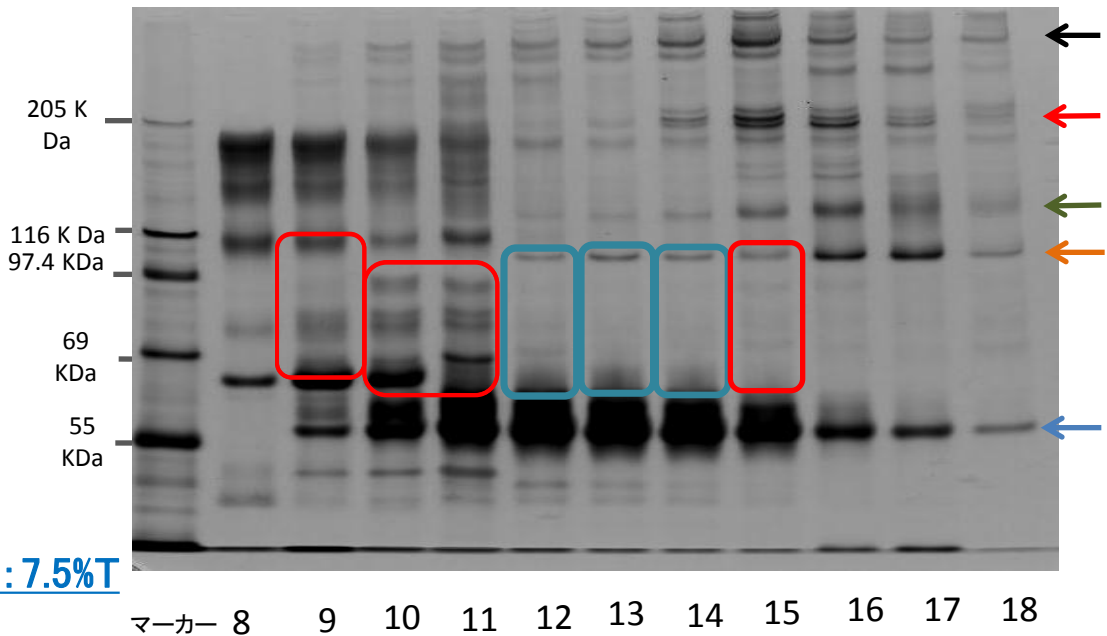
# STARアルカリゲルの分離性能

ヒト血清のクロマトグラフィーフラクションの電気泳動での分離

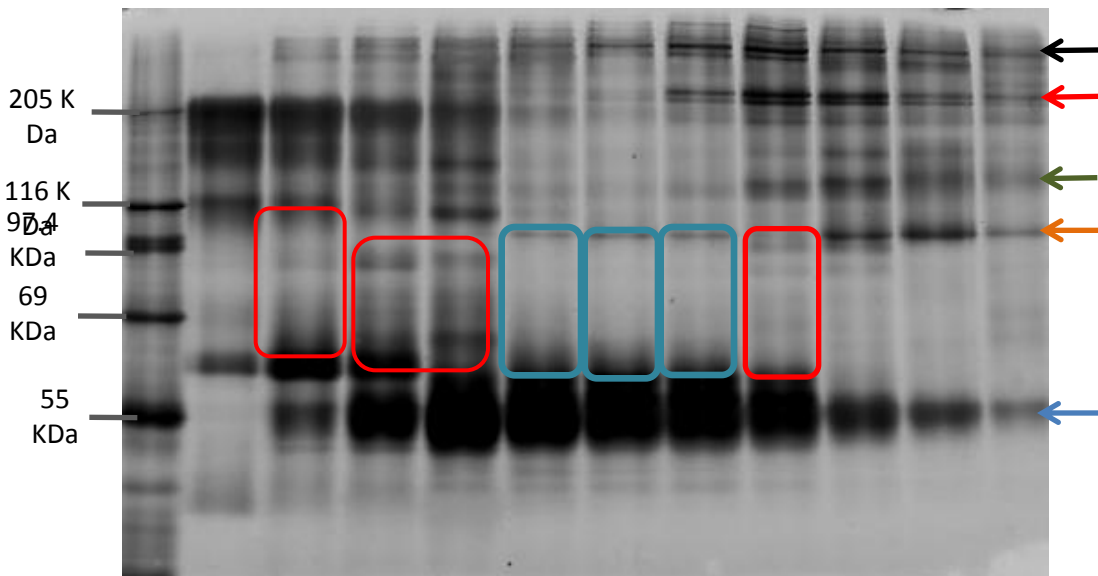
K大学S教授提供

## (1) STARアルカリゲルと「通常ゲル」とのバンド比較1

### STARゲル: 7.5%T



### 通常ゲル: 7.5%T



#### HPLC分析条件

サンプル: ヒト血漿サンプル  
 使用カラム: TSK Gel Q-STAR  
 使用バッファー: ①40mM Tris-HCl pH7.5 - 0.1%Tween  
 ②1M NaCl - 0.1% tween

#### 電気泳動

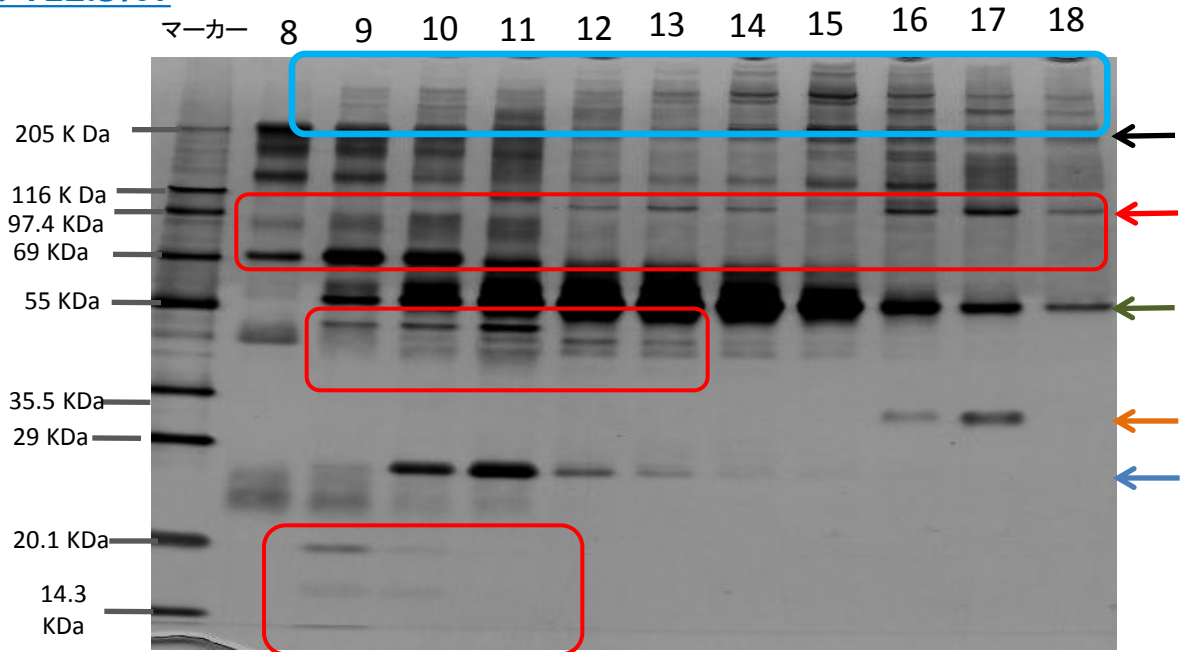
使用サンプル: Fraction 8 ~ 10  
 染色法: 銀染色

## ヒト血清のクロマトグラフィーフラクションの電気泳動での分離

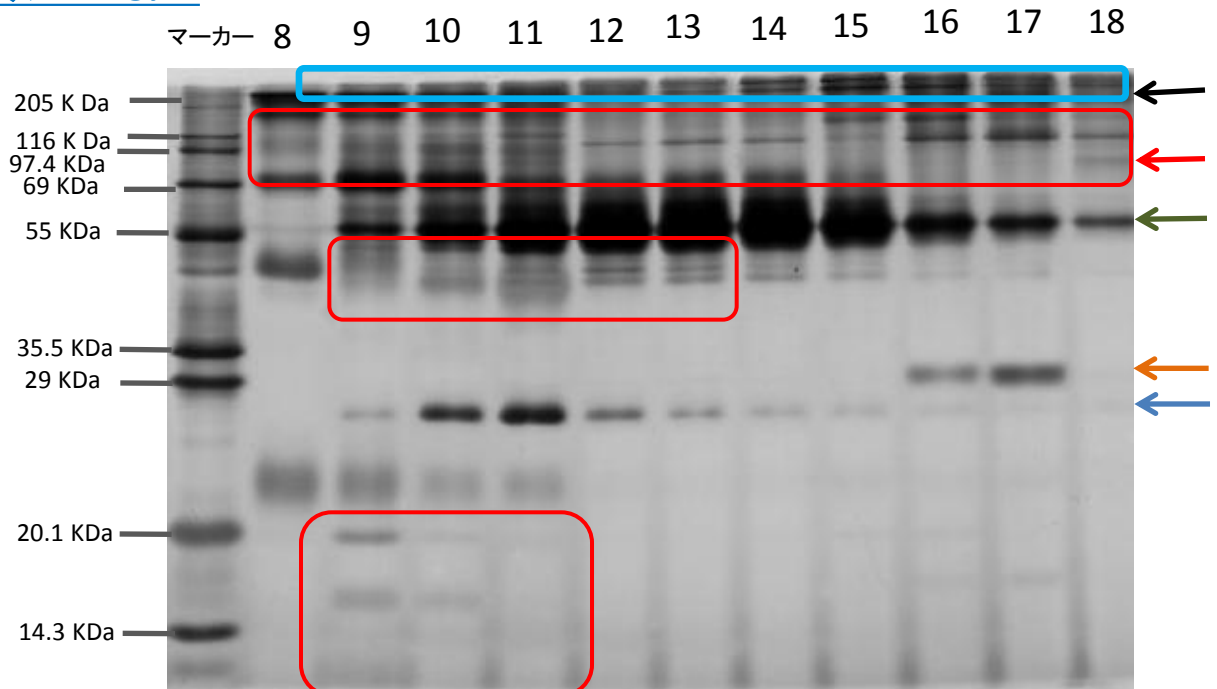
K大学S教授提供

### (1) STARアルカリゲルと「通常ゲル」とのバンド比較2

#### STARゲル: 12.5%T



#### 通常ゲル: 12.5%T



#### HPLC分析条件

サンプル: ヒト血漿サンプル  
 使用カラム: TSK Gel Q-STAT  
 使用バッファー: ①40mM Tris-HCl pH7.5 - 0.1%Tween  
 ②1M NaCl - 0.1% tween

#### 電気泳動

使用サンプル: Fraction 8 ~ 10  
 染色法: 銀染色

## ヒト血清のクロマトグラフィーフラクションの電気泳動での分離

K大学S教授提供

**高分離能STARアルカリゲルの特徴**

**(1) 通常ゲルでは検出できない、量の少ないマイナーバンドが検出できる。**

**(2) 通常ゲルではバンドが重なってバンドの本数が確認できないことがあるが、STARアルカリゲルでは、明確に分離されている。**

**《 通常ゲルとのバンド比較1及び2 》の説明**

- (1) 一般的に使用されている《通常ゲル》に比べて、明らかにシャープなバンドが得られている
- (2) 「通常ゲルとのバンド比較1及び2」で示したように、存在量の少ないマイナーバンドにおいて、明確な分離能の差が確認できた。
- (赤枠内) 通常ゲル及びSTARアルカリゲルとも、バンドは検出されているが、STARアルカリゲルでは、各バンドが確実に分離され、よりシャープなバンドであるのに対して、通常ゲルでは、バンドがブロードになっており、バンドの本数が確認できない部分がある。
- (青枠内) 通常ゲルでは、確認できないバンドが、STARアルカリゲルでは、確認できている。
- (3) 「通常ゲルとのバンド比較2」の分子量200kDa以上では、高分子量のタンパク質が、すべてゲル上端に集まり(ゲルに入っていけない)、濃いバンドとなっている。STARアルカリゲルでは、4%Tの濃縮ゲルがあるため、200kDa以上のタンパク質も、分離できている。